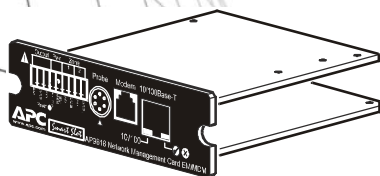




インストール / ク
イックスタート

Network Management Card

AP9617
AP9618
AP9619





This manual is available in English on the enclosed CD.

Dieses Handbuch ist in Deutsch auf der beiliegenden CD-ROM verfügbar.

Este manual está disponible en español en el CD-ROM adjunto.

Ce manuel est disponible en français sur le CD-ROM ci-inclus.

Questo manuale è disponibile in italiano nel CD-ROM allegato.

本マニュアルの日本語版は同梱の CD-ROM からご覧になれます。

目次

機器の損傷を避けるために	1
Smart-UPS または Expansion Chassis の電源の切断	1
Matrix-UPS のバイパスモードの使用	2
はじめに	3
機能	3
AP9618 の機能	3
AP9619 の機能	4
アップグレードキット (AP9618U および AP9619U)	4
Integrated Environmental Monitor の機能 (AP9618 および AP9619)	4
内蔵アナログモデム (AP9618)	4
関連マニュアル	5
パッケージ内容の確認	5
免責条項	5
UPS への取り付け	7
異なる UPS モデルへのカードの取り付け方法	7
手順 1 : 電源オフ (Smart-UPS) またはバイパスモードの 使用 (Matrix-UPS)	7
手順 2 : Network Management Card の取り付け	8
手順 3 : カードスロットへの電源の回復	9
手順 4 : Management Card の設定	9
Expansion/Triple Chassis の取り付け	10
Expansion Chassis を使用する場合	10
AC アダプタ (AP9505) の使用	10
手順 1 : シャーシに電源を供給しているケーブル類の取り 外し	10
手順 2 : Network Management Card の取り付け	11

クイック環境設定	13
概要	13
TCP/IP の設定方法	13
APC デバイス IP 設定ウィザード	14
.ini ファイル用ユーティリティ	14
[BOOTP & DHCP] の設定	14
Control Console へのローカルアクセス	17
Control Console へのリモートアクセス	18
Control Console	19
パスワードを忘れた場合	20
設定した Network Management Card へのアクセス方法	22
概要	22
Web インターフェイス	22
Telnet/SSH	23
Simple Network Management Protocol (SNMP)	24
FTP および SCP	24
アナログモデム (AP9618)	25
システムのセキュリティ管理	25
仕様	26

機器の損傷を避けるために

Smart-UPS または Expansion Chassis の電源の切断

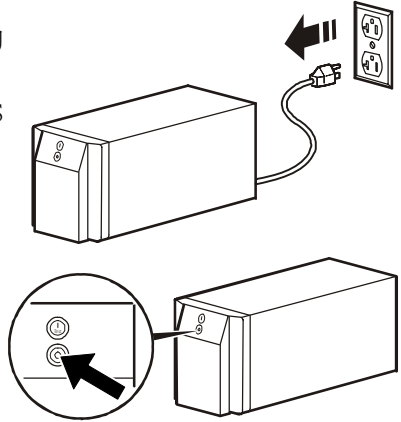
Matrix-UPS[®]、Symmetra[®] UPS、Silcon[®] UPS、または AIS 5000 UPS の場合は、Management Card の取り付け時に電源を切る必要はありません。しかし Matrix-UPS では、Management Card の取り付けまたは取り外しを行う前に UPS を保守バイパスモードにする**必要があります**。



Management Card を取り付ける前に Smart-UPS[®]、Expansion Chassis、または Triple Expansion Chassis から AC/DC 電源をすべて取り外さないと、UPS または Network Management Card が損傷する場合があります。

Smart-UPS

1. UPS に接続している機器の電源を切ります。
2. AC 入力源から UPS の接続を外します。
3. UPS の OFF ボタンを約 5 秒ほど押し続けて DC (バッテリー) 電源を切ります。

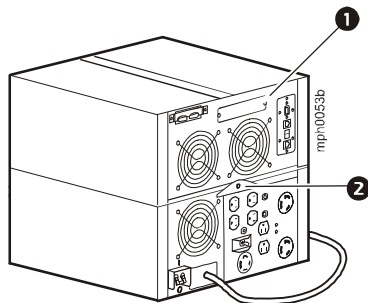


Expansion chassis Expansion Chassis または Triple Expansion Chassis が全出力から外されていることを確認します。UPS からのシャワーケーブルを取り外し、AC-to-DC Adapter (AP9505) を使用している場合はそれも取り外してください。

Matrix-UPS のバイパスモードの使用

Matrix-UPS Management Card を取り付ける前に、UPS をバイパスモードにしてから負荷装置への電源供給を続けます。

1. UPS 背面中央の **②** の位置のツマミを緩めて、Management Card 用スロット **①** がある電子装置の電源を切断します。切り離された装置（ツマミ下部にある UPS の一部）は負荷装置への電源供給を続けます。
2. Management Card を取り付けます。



詳細については、「UPS への取り付け」（ページ 7）を参照してください。

3. 電子装置の電源を回復するには、UPS のバイパスモードを解除します。
 - a. UPS 背面の **②** の位置にあるツマミを締めます。
 - b. UPS 前面の LCD の下にある 3 つのボタンのいずれかを押します。プロンプトに応答して UPS のバイパスモードを解除します。

はじめに

機能

すべての Network Management Card には、次のような処理を実行する標準機能があります。

- ・ 10/100 Mbps の接続速度の検出
- ・ FTP (File Transfer Protocol)、SCP (Secure CoPy)、または Web ブラウザからアクセス可能なデータログの作成
- ・ UPS スケジュール設定機能
- ・ Telnet、FTP、SCP、Web ブラウザからアクセス可能なイベントログの作成
- ・ システムログ (Syslog) メッセージの生成
- ・ ネットワーク通信に必要な TCP/IP 値を Network Management Card に設定する BOOTP (BOOTstrap Protocol) サーバまたは DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバの設定が可能
- ・ UPS やシステムイベントに関する情報を電子メールで通知
- ・ イベントの重要度およびカテゴリに基づいて SNMP トラップ、電子メール通知、およびイベントログを制限
- ・ ネットワーク上で複数の Management Card を同時に設定可能
- ・ APC Silcon UPS モデルへのサポート提供
- ・ APC AIS 5000 UPS モデルへのサポート提供
- ・ Management Card のハードウェアプラットフォームに応じた、UPS 固有のアプリケーションモジュールの提供
- ・ SSL (Secure Sockets Layer) および SCP (Secure CoPy) 対応でセキュリティを強化

AP9618 の機能

AP9618 Network Management Card *EM/MDM* には、アナログモデムと「Integrated Environmental Monitor の機能 (AP9618 および AP9619)」(ページ 4) に記載の Integrated Environmental Monitor の機能が含まれます。

AP9619 の機能

AP9619 Network Management Card *EM*には、「Integrated Environmental Monitor の機能 (AP9618 および AP9619)」(ページ 4)に記載の Integrated Environmental Monitor の機能が含まれます。AP9619 にはアナログモデム機能は含まれません。

アップグレード キット (AP9618U および AP9619U)

AP9618U キットを使用して、AP9617 Network Management Card *EX*または AP9619 Network Management Card *EM*を AP9618 Network Management Card *EM/MDM*に変換することができます。

AP9619U キットを使用して、AP9617 Network Management Card *EX*を AP9619 Network Management Card *EM*に変換することができます。

Integrated Environmental Monitor の機能 (AP9618 および AP9619)

AP9618 および AP9619 Management Cards には、次の機能を提供する Integrated Environmental Monitor が含まれています。

- ・ 温度センサ
- ・ 2つの入力用コンタクト
- ・ 二位置出力リレー

さらに、APC から温度 / 湿度センサ (AP9512THBLK) も購入可能です。

Integrated Environmental Monitor に加え、AP9618 または AP9619 Management Card も、Environmental Monitoring Card を監視、管理することができます。

内蔵アナログ モデム (AP9618)

AP9618 Network Management Card *EM/MDM*には、次の帯域外通信を提供する内蔵アナログモデムが含まれます。

- ・ APC の Remote Monitoring Service (RMS) 用のダイヤルアウト通知
- ・ Management Card の Console インターフェイスへのダイヤルインアクセス

関連マニュアル

APC Network Management Card のユーティリティ CD には、次のマニュアルが収録されています。

- ・ *Network Management Card ユーザーズガイド*
- ・ *Network Management Card アップグレードユーティリティ*
- ・ *セキュリティハンドブック*
- ・ *PowerNet[®] Management Information Base (MIB) リファレンスガイド*

パッケージ内容の確認

Management Card パッケージには、次の品目が同梱されています。

- ・ この『*取り付け / クイックスタートガイド*』
- ・ Network Management Card
- ・ APC Network Management Card のユーティリティ CD
- ・ スマートシグナリングケーブル (940-0024)
- ・ *Installation of Multiple Management Cards* 小冊子
- ・ 規格準拠の宣言
- ・ 保証書 / 登録用紙
- ・ Network Management Card 品質保証試験証

**注意**

保証試験証は保存しておいて下さい。この証には MAC アドレスが記載されており、これは「TCP/IP の 設定方法」(ページ 13) で概説した手順実行時に必要です。

免責条項

製品の再発送時に発生した損傷に関しては、American Power Conversion (APC) は保証しません。



Network Management Card は静電気で破損する可能性があります。Management Card を取り扱う場合はプレートの端だけを持って、リストストラップ、ヒールストラップ、トウストラップ、放電シューズなどの ESD (静電気放電) 製品を使用してください。

リサイクルの
お願い



製品の梱包器材は再利用することができます。保管して後で利用するか、または適切な手段で廃棄するようお願いいたします。

Network Management Cardを含むAPC管理製品には、取り外しができるリチウムコインセルバッテリーが内蔵されています。これらのバッテリーを廃棄する場合は、その地域のリサイクル法に従って廃棄してください。

UPS への取り付け

異なる UPS モデルへのカードの取り付け方法

Management Card は Smart-UPS、Matrix-UPS、Symmetra UPS、または AIS 5000 UPS のカードスロットに取り付けることができます。Silcon UPS の場合は、Management Card を Silcon Triple Chassis Protocol Converter (AP9604S) に取り付け使用します。

- APC 管理製品を複数使用する Symmetra UPS では、適切に稼動するように APC 管理製品を正しい順序で取り付ける**必要があります**。



参照

Management Card に付属の小冊子『*Installation of Multiple Management Cards*』を参照してください。

- Symmetra UPS または Matrix-UPS の場合は、電源を切る必要がありません。しかし Matrix-UPS では、Management Card の取り付けまたは取り外しを行う前に UPS を保守バイパスモードにする**必要があります**。

手順 1: 電源オフ (Smart-UPS) またはバイパスモードの使用 (Matrix-UPS)

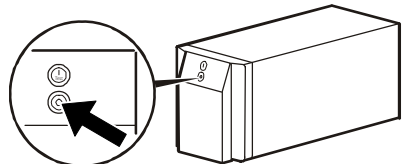
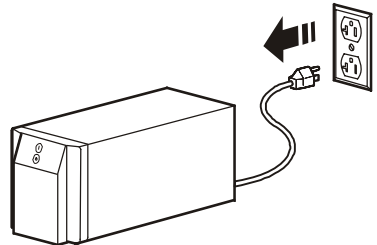
Smart-UPS



注意

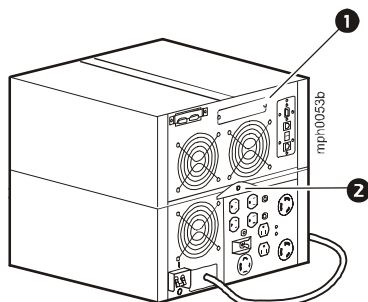
AC/DC 電源をすべて Smart-UPS から取り外さないと、UPS または Management Card が損傷する場合があります。

1. UPS に接続している機器の電源を切ります。
2. AC 入力電源から UPS の接続を外します。
3. UPS の OFF ボタンを約 5 秒ほど押し続けて DC (バッテリー) 電源を切ります。



Matrix-UPS Management Card を取り付ける前に、UPS をバイパスモードにしてから負荷装置への電源供給を続けます。

1. UPS 背面中央の **②** の位置のツマミを緩めて、Management Card 用スロット **①** がある電子装置の電源を切断します。切り離された装置（ツマミ下部にある UPS の一部）は負荷装置への電源供給を続けます。



2. Management Card を取り付けます。



詳細については、「UPS への取り付け」（ページ 7）を参照してください。

3. 電子装置に電源を回復するには、UPS のバイパスモードを解除します。
 - a. UPS 背面の **②** の位置にあるツマミを締めます。
 - b. UPS 前面の LCD の下にある 3 つのボタンのいずれかを押します。プロンプトに応答して UPS のバイパスモードを解除します。

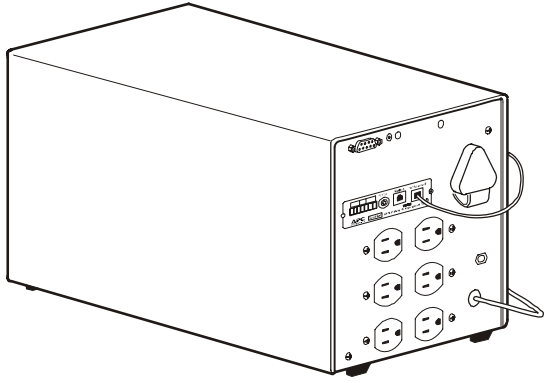
手順 2 : Network Management Card の取り付け



Network Management Card は静電気によって破損する可能性があります。Management Card を取り扱う場合はプレートの端だけを持って、リストストラップ、ヒールストラップ、トウストラップ、放電シューズなどの ESD（静電気放電）製品を使用してください。

1. スロットカバーに取り付けられていた同じネジを使って Management Card を UPS カードスロットに固定します。

2. ネットワークインターフェイスケーブルを Management Card の 10/100Base-T ネットワークコネクタに接続します。



手順 3 : カードスロットへの電源の回復

カードスロットの電源を回復して、Network Management Card に電源を入れます。

- ・ Smart-UPS モデルでは、UPS を入力電源に再接続してから UPS の電源を入れます。
- ・ Matrix-UPS モデルでは、UPS 背面中央のツマミを締めてカードスロットがある電子装置の電源を回復します。

手順 4 : Management Card の設定



詳細については、「クイック環境設定」(ページ 13) を参照してください。

Expansion/Triple Chassis の取り付け

Expansion Chassis を使用する場合

UPS で使用できる UPS カードスロットがない場合は、Expansion Chassis または Triple Expansion Chassis を使用します。



注意

Silcon UPS または AIS 5000 UPS では、Silcon Triple Chassis Protocol Converter (AP9604S) 以外は使用しないでください。

Management Card をシャーシに取り付けると、シャーシと UPS を接続するケーブルを介して UPS と通信します。

AC アダプタ (AP9505) の使用

次のような場合は、オプションの AC アダプタをシャーシと一緒に使用します。

- ・ UPS 停止時や障害発生時でも Management Card が動作するように、シャーシを独立した AC 入力に接続する場合。
- ・ Triple Expansion Chassis に取り付けられている APC 管理製品に、UPS が UPS 接続ケーブルを通じて供給できる以上の電流を供給する場合。
 - Silcon UPS は最大 500 mA までの電流を供給します。
 - Matrix-UPS、Smart-UPS または Symmetra UPS は最大 200 mA までの電流を供給します。



参照

APC 管理製品の現行のシステム要件について詳しくは、Management Card に付属の『*Installing Multiple Management Card*』を参照してください。

手順 1: シャーシに電源を供給しているケーブル類の取り外し

シャーシに電源を供給しているケーブル類が取り外されていることを確認してください。

- ・ UPS からシャーシのケーブル類を取り外してください。
- ・ UPS で AC アダプタを使用している場合は、シャーシからそのアダプタを取り外してください。

手順 2 : Network Management Card の取り付け

UPS で複数の APC 管理製品を使用している場合は、適切に稼動するようにそれらの製品を正しい順序で取り付ける必要があります。



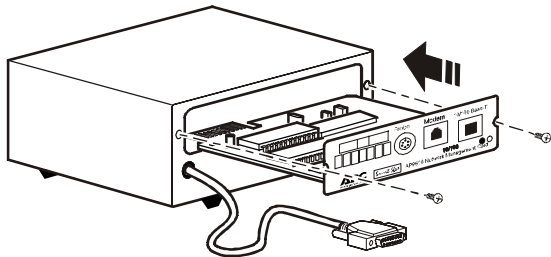
参 照

Management Card に付属の『*Installation of Multiple Management Cards*』を参照してください。



Network Management Card は静電気で破損する可能性があります。Management Card を取り扱う場合はプレートの端だけを持って、リストストラップ、ヒールストラップ、トウストラップ、放電シューズなどの ESD（静電気放電）製品を使用してください。

1. ケーブルが UPS またはシャーシのシリアルポートに接続されている場合は、そのシリアル接続を使用する APC サービスを停止し、ケーブルの接続を外します。
2. シャーシを取り付けている場合は、シャーシを UPS のシリアルポートに接続します。
3. 拡張スロットカバーを固定していたものと同じネジを使って Management Card をシャーシのスロットに固定します。



4. ネットワークインターフェイスケーブルを Management Card の 10/100Base-T ネットワークコネクタに接続します。
5. AC Adapter (AP9505) を使用している場合は、そのアダプタをシャーシに接続します。アダプタを独立した AC 入力に接続しておけば、UPS の停止時や障害発生時でも Management Card が動作します。

6. 手順 1 でケーブルを外した場合は、そのケーブルをシャーシのシリアルポートに再接続し、関連するサービスを再起動してください。
7. 詳細については、「クイック環境設定」(ページ 13) を参照してください。

クイック環境設定

概要

APC Network Management Card をネットワーク上で作動させるには、次の TCP/IP 情報を設定する必要があります。

- ・ Management Card の IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ



注意

デフォルトゲートウェイがない場合は、Management Card と同じサブネット上にあり、常時動作しているコンピュータの IP アドレスを指定します。Management Card はトラフィックが非常に少ないときに、デフォルトゲートウェイを使ってネットワークのテストを行います。



注意

ループバックアドレス (127.0.0.1) を Management Card のデフォルトゲートウェイアドレスとして使用しないでください。ループバックアドレスを使用するとカードは無効になり、ローカルシリアルログインを使用して TCP/IP 設定をデフォルトにリセットするよう要求されます。



参照

デフォルトゲートウェイのウォッチドッグ機能に関する詳細については、『*Network Management Card ユーザーズガイド*』の「はじめに」の「ウォッチドッグ機能」を参照してください。

TCP/IP の 設定方法

次のいずれかの方法で、Management Card に要求される TCP/IP を設定します。

- ・ APC デバイス IP 設定ウィザード (「APC デバイス IP 設定ウィザード」 (ページ 14) を参照)
- ・ BOOTP または DHCP サーバ (「[BOOTP & DHCP] の設定」 (ページ 14) を参照)
- ・ ローカルコンピュータ (「Control Console へのローカルアクセス」 (ページ 17) を参照)
- ・ ネットワークコンピュータ (「Control Console へのリモートアクセス」 (ページ 18) を参照)

APC デバイス IP 設定ウィザード

APC デバイス IP 設定ウィザードは、Microsoft® Windows® 2000、Windows 2003、または Windows XP を実行しているコンピュータで使用でき、未設定の Management Cards を検出して、ネットワーク全体で 1 回に 1 つのカードの基本的な TCP/IP の設定を行います。



注意

ウィザードで未設定の Network Management Cards を検出するためには、ほとんどのファイアウォールソフトウェアは一時的に無効にする必要があります。

1. ネットワーク上のコンピュータに APC Network Management Card ユーティリティ CD を挿入してください。
2. メインメニューから [Device IP Configuration Wizard] を選択してください。
3. ウィザードが未設定の Management Card を検出したら、画面の指示に従って、それぞれのアドレスを入力します。



注意

[Start a Web browser when finished] オプションを有効にしておけば、「apc」（デフォルト）をユーザ名とパスワードの両方に指定してブラウザから Management Card にアクセスすることができます。

.ini ファイル用ユーティリティ

.ini ファイルエクスポートユーティリティを使用して、設定済みの Management Card から 1 台または複数の未設定の Management Card に .ini ファイルの設定をエクスポートすることができます。このユーティリティとマニュアルは APC Network Management Card のユーティリティ CD に収録されています。

[BOOTP & DHCP] の設定

デフォルトの TCP/IP 設定では [BOOTP & DHCP] は、適切に設定された BOOTP サーバまたは DHCP サーバであり Management Card の TCP/IP 設定が可能であることを想定しています。Management Card はまず適切に設定された BOOTP サーバを検索し、その後 DHCP サーバを検索します。BOOTP サーバまたは DHCP サーバが見つかるまでこのパターンを繰り返します。



BOOTP と DHCP のどちらのサーバも使用できない場合は、「APC デバイス IP 設定ウィザード」(ページ 14)、「Control Console へのローカルアクセス」(ページ 17)、または「Control Console へのリモートアクセス」(ページ 18)を参照して必要な TCP/IP 設定を実行してください。



参照

ユーザ設定 (.ini) ファイルは、BOOTP または DHCP ブートファイルとしての機能をもつことができます。詳細については、『Network Management Card ユーザーズガイド』の TCP/IP 設定のセクションを参照してください。ユーティリティ CD または APC の Web サイト (www.apc.com) でご覧いただけます。

BOOTP Network Management Card で BOOTP サーバを使用して TCP/IP 設定を行うには、適切に設定された RFC951 準拠の BOOTP サーバを検出する必要があります。

BOOTP サーバの BOOTPTAB ファイルに、Management Card の MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、およびオプションで bootup ファイル名を入力してください。MAC アドレスについては、Management Card の下部、またはこのパッケージに付属の品質保証試験証を参照してください。

Management Card を再起動すると、BOOTP サーバが適切な TCP/IP 設定情報を提供します。

- bootup ファイル名を指定してある場合、Management Card は、TFTP または FTP を使用して、BOOTP サーバからこのファイルを転送しようとします。Management Card は指定された bootup ファイル中の設定をすべて利用します。
- bootup ファイル名を指定しなかった場合は、Web インターフェイスや Control Console で Management Card のその他の設定をリモート設定できます。デフォルトのユーザ名とパスワードは両方「**apc**」です。



参照

bootup ファイルを作成するには、BOOTP サーバのマニュアルを参照してください。

DHCP RFC2131/RFC2132 に準拠した DHCP サーバを使用して、Management Card の TCP/IP 値を設定できます。



参照

このセクションでは Management Card と DHCP サーバの通信を簡単に説明します。DHCP サーバを使用した Management Card 用のネットワーク設定方法の詳細については、『*Network Management Card ユーザーズガイド*』の「DHCP 設定」を参照してください。ユーティリティ CD でご覧いただけます。

1. Management Card は DHCP リクエストを送信しますが、このときに自らを識別するために、次のいずれかの識別子を使用します。
 - ベンダクラス識別子（デフォルトは「APC」）
 - クライアント識別子（デフォルトは Management Card の MAC アドレス）
 - ユーザクラス識別子（デフォルトは Management Card のアプリケーションファームウェアの識別子）
2. 適切に設定した DHCP サーバは、ネットワーク通信のために Management Card に必要となる全設定を含んだ DHCP レスポンスを送り返してきます。また、DHCP レスポンスには、[Vendor Specific Information] オプション (DHCP オプション 43) があります。デフォルトの場合、DHCP オプション 43 の APC cookie が次の 16 進数形式でカプセル化されていないと、Management Card はこの DHCP レスポンスを無視します。

オプション 43 = 01 04 31 41 50 43

この場合、各値は以下を表します。

- 最初のバイト (01) はコード
- 第 2 のバイト (04) は長さ
- 残りのバイト (31 41 50 43) は APC cookie



参照

[Vendor Specific Information] オプションにコードを追加するには、DHCP サーバのマニュアルを参照してください。



注意

DHCP レスポンスが APC cookie を含むという要求を無効にするには、Control Console の [DHCP Cookie Is] 設定を使用してください。 ([Network] > [TCP/IP] > [Boot Mode] > [DHCP only] > [Advanced] > [DHCP Cookie Is])。

Control Console へのローカルア クセス

Management Card 前面のシリアルポートに接続したコンピュータを使用して、Control Console にアクセスできます。

1. ローカルコンピュータのシリアルポートを選択して、このポートを使用するすべてのサービスを無効にします。
2. 設定ケーブルを使用して、選択したポートと Management Card のフロントパネルにあるシリアルポートを接続します。UPS に付属の 6 フィートケーブル 940-0024C、または APC から購入可能な 15 フィートケーブル AP9804 (990-1524) のいずれかを使用します。
3. 端末プログラム (HyperTerminal など) を起動し、選択したポートの設定を 2400bps、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御なしに変更します。必要に応じて変更内容を保存します。
4. ENTER キーを押して [User Name] プロンプトを表示します。
5. 「apc」をユーザ名とパスワードとして入力します。



設定の終了については、「Control Console」(ページ 19) を参照してください。

Control Console へのリモートア クセス

Management Cardと同じサブネットにあるコンピュータから、ARP と Ping を使用して Management Card に IP アドレスを割り当てることができます。その後は、Telnet を使用して Control Console にアクセスしたり、その他の TCP/IP 値を設定したりすることができます。



注意

Management Card に IP アドレスを設定すれば、ARP と Ping なしで最初から Telnet を使用してこの Management Card にアクセスできます。

1. Management Card の MAC アドレスを ARP コマンドで使用して、IP アドレスを定義します。



注意

MAC アドレスについては、Management Card の下部、またはこのパッケージに付属の品質保証試験証を参照してください。

例えば IP アドレス 156.205.14.141 を、00 c0 b7 63 9f 67 という MAC アドレスをもつ Management Card の IP アドレスとして定義するには、以下のコマンドのいずれかを使用します。

– Windows コマンドの形式 :

```
arp -s 156.205.14.141 00-c0-b7-63-9f-67
```

– LINUX コマンドの形式 :

```
arp -s 156.205.14.141 00:c0:b7:63:9f:67
```

2. ARP コマンドで設定した IP アドレスを割り当てるには、113 バイトの Ping を使用します。手順 1 で割り当てられた IP アドレスには、次のような Ping コマンドを指定します。

– Windows コマンドの形式 :

```
ping 156.205.14.141 -l 113
```

– LINUX コマンドの形式 :

```
ping 156.205.14.141 -s 113
```

3. Telnet を使用して、新たに割り当てた IP アドレスで Management Card にアクセスします。この例では、次のコマンドを使用します。

```
telnet 156.205.14.141
```

4. ユーザ名とパスワード両方に「**apc**」を指定します。
5. 設定の終了については、「Control Console」(ページ 19) を参照してください。

Control Console

Control Console にログインしたら、「Control Console へのローカルアクセス」(ページ 17) または「Control Console へのリモートアクセス」(ページ 18) で説明しているように、次の手順に従ってください。

1. **[Control Console]** メニューから **[Network]** を選択します。
2. **[Network]** メニューから **[TCP/IP]** を選択します。
3. TCP/IP 値の設定に BOOTP または DHCP サーバを使用していない場合は、**[Boot Mode]** を選択してから **[Manual]** を選択します。
4. システムの IP、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイのアドレスを設定します (変更が反映されるのはログオフ時です)。
5. ENTER キーを押して **[TCP/IP]** メニューに戻ります。
6. CTRL+C キーを押して、**[Control Console]** メニューを終了します。
7. 変更を有効にするために、ログアウトしてください (**[Control Console]** メニューのオプション 4)。



注意

「Control Console へのローカルアクセス」(ページ 17) で説明している手順で接続したケーブルを外している場合は、再接続して関連するサービスを再起動してください。

パスワードを忘れた場合

Management Card にシリアルポートで接続されているローカルコンピュータを使用して、パスワードを復旧できます。

1. ローカルコンピュータのシリアルポートを選択して、このポートを使用するすべてのサービスを無効にします。
2. シリアルケーブルをコンピュータの選択したポートと UPS にある設定ポートに接続します。UPS に付属の 6 フィートケーブル 940-0024 または APC から購入可能な 15 フィートケーブル AP9804 を使用します。
3. 端末プログラム (HyperTerminal[®] など) を起動し、選択したポートを次のように設定します：
 - 2400bps
 - 8 データビット
 - パリティなし
 - 1 ストップビット
 - フロー制御なし
4. ENTER キーを押して (必要に応じて繰り返し押してください)、[User Name] を表示します。[User Name] プロンプトを表示できない場合は、次を確認してください。
 - シリアルポートが他のアプリケーションによって使用されていないこと。
 - 端末の設定が手順3の指定通りに正しく行われていること。
 - 手順2で指定の適切なケーブルが使用されていること。
5. [Reset] ボタンを押します。Status LED が橙色と緑に交互に点滅します。LED が点滅している間に [Reset] ボタンを直ちに再び押して、ユーザ名とパスワードを一時的にデフォルト値に戻します。

6. 必要な回数だけ ENTER キーを押して [User Name] プロンプトを再表示します。ユーザ名とパスワードにはデフォルトの「apc」を入力します。
([User Name] プロンプトの再表示後、ログオンに 30 秒以上かかった場合は、手順 5 を繰り返してログオンし直す必要があります)。
7. [Control Console] メニューから [System] を選択し、それから [User Manager] を選択します。
8. [Administrator] を選択し、画面の指示に従って [User Name] と [Password] の値を変更します。
この時点では、どちらも「apc」と設定されています。
9. CTRL+C を押してログオフし、必要に応じて接続を外したシリアルケーブルをすべて再度接続し、無効にしたサービスもすべて再起動します。

設定した Network Management Card へのアクセス方法

概要

ネットワーク上で Network Management Card が動作するようになったら、ここに要約されているインターフェイスを使用できます。Web インターフェイス、Telnet/SSH、SNMP、FTP/SCP および AP9618 Network Management Card 用内蔵アナログモデム



参照

インターフェイスの詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

Web インターフェイス

Management Card の Web インターフェイスにアクセスするには、Microsoft Internet Explorer (IE) 5.5 以降 (Windows OS のみ)、Mozilla Corporation 製 Firefox バージョン 1.x (すべての OS で使用可能)、または Netscape® 7.x 以降 (すべての OS で使用可能) を使用してください。その他一般に流通しているブラウザでも動作する可能性がありますが、弊社では十分なテストを行っていません。

Web インターフェイスを使用すると、以下のプロトコルを使用できます。

- ・ HTTP プロトコル (デフォルトでは有効)。ユーザ名とパスワードによる認証を提供しますが、暗号化は行いません。
- ・ HTTPS プロトコル。Secure Socket Layer (SSL) によりさらに高い安全性を提供し、ユーザ名、パスワード、伝送データを暗号化し、デジタル証明書によって Network Management Card を認証します。

Web インターフェイスにアクセスし、ネットワーク上で機器のセキュリティを設定する場合：

1. アクセスする際には、Network Management Card の IP アドレス (または DNS 名が設定されている場合は DNS 名) を指定します。
2. ユーザ名とパスワードを入力します (デフォルトでは管理者用が「**apc**」および「**apc**」)。

3. HTTP/HTTPS プロトコルを有効または無効にするには、[Administration] タブの [Network] メニューを使用します。左側のナビゲーションメニュー上の Web 見出しの下にある [access] オプションを選択します。



参照

ネットワークセキュリティの選択と設定の詳細については、『セキュリティハンドブック Network Management Card』を参照してください。APC Network Management Card ユーティリティ CD または APC の Web サイト (www.apc.com) からご覧いただけます。

Telnet/SSH

有効になっていれば、Telnet または Secure Shell (SSH) で Control Console にアクセスできます。Telnet/SSH を有効にするには、上側のメニューバーにある [Network] メニューで [Administration] タブと、左側のナビゲーションメニューの [Console] の下にある [access] オプションを選択します。デフォルトでは、Telnet が有効です。SSH を有効にすると、自動的に Telnet が無効になります。

Telnet による基本的なアクセス Telnet はユーザ名とパスワードによる基本的な認証セキュリティを提供しますが、暗号化による高度なセキュリティは提供しません。同じサブネット上にある任意のコンピュータから、Telnet を使って Network Management Card の Control Console にアクセスする場合：

1. コマンドプロンプトに次のコマンド行を入力して、ENTER キーを押します。

```
telnet address
```

アドレスには、Network Management Card の IP アドレスまたは DNS 名（設定されている場合）を使用します。

2. ユーザ名とパスワードを入力します（デフォルトでは「apc」および「apc」で管理者用、「device」および「apc」でデバイスユーザ用）。

SSH による高度なセキュリティアクセス Web インターフェイスに SSL の高度なセキュリティを使用している場合は、Secure Shell (SSH) により Control Console にアクセスします。SSH は、ユーザ名およびパスワード、伝送データを暗号化します。

SSL と Telnet のどちらかを使用して Control Console にアクセスしても、インターフェイスおよびユーザアカウント、ユーザアクセス権限は同じですが、SSH を使用する場合は、まず SSH を設定し、自分のコンピュータに SSH クライアントプログラムをインストールする必要があります。



参 照

SSH の環境設定および使用方法の詳細については、『ユーザズガイド』を参照してください。

Simple Network Management Protocol (SNMP)

PowerNet MIB を追加した標準 SNMP MIB ブラウザを使用して、Network Management Card にアクセスできます。デフォルトの読み込みコミュニティ名は「**public**」で、デフォルトの読み込み / 書き込みコミュニティ名は「**private**」です。

InfraStruXure システムの公開ネットワーク上の UPS を管理するために InfraStruXure Manager を使用するには、Management Card インターフェイスで SNMP を有効にする必要があります。

管理者以外は SNMP を有効または無効にできません。

[**Administration**] タブ、上側メニューバーの [**Network**] メニューを選択して、左側のナビゲーションメニューの [**SNMP**] の下にある [**access**] オプションを使用します。

FTP および SCP

FTP (デフォルトで有効) や SCP を使用して、ダウンロードしたファームウェアを Management Card に転送したり、Management Card のイベントログやデータログのコピーにアクセスできます。

InfraStruXure Manager を使用して UPS を管理するには、Management Card インターフェイスで [**FTP Server**] を有効にする必要があります。

管理者以外は [FTP Server] アクセスを有効または無効にできません。[Administration] タブ、上側メニューバーの [Network] メニューを選択して、左側のナビゲーションメニューの [FTP Server] オプションを使用します。



参照

『Network Management Card ユーザーズガイド』には、以下のセクションがあります。

- ・ファームウェアを転送するには、「ファイルの転送」を参照してください。
- ・イベントログまたはデータログのコピーを復元するには、「FTP/SCP を使用するログファイルの復元方法」を参照してください。

**アナログモデム
(AP9618)**

AP9618 の Network Management Card *EM/MDM*には、Management Card の Control Console にダイヤルインアクセスするために使用する内蔵アナログモデムが搭載されています。

**システムのセキュ
リティ管理**



参照

取り付けおよび初期設定後にセキュリティを強化する方法の詳細については、APC Network Management Card のユーティリティ CD および APC の Web サイト (www.apc.com) から『セキュリティハンドブック』を参照してください。

仕様

電気仕様

定格入力電圧	24 VDC
最大供給可能電流	130 mA @ 19-30 VDC 交流電圧 (標準型センサ取付時)
温度の精度	±0 ~ 40° C (32 ~ 104° F) の範囲内で2° C (±3° F)
湿度の精度	±10 ~ 90% RH の範囲内で8% RH (気温 25° C (77° F) の場合) ±30 ~ 80% RH の範囲内で8% RH (気温 15 ~ 30° C (59 ~ 95° F) の場合)
リレー接点の電流量	1 A @ 30 V AC/DC (AP9618/AP9619 のみ)
+12 VDC 出力	最大電流 25 mA (AP9618/AP9619 のみ)
センサゾーンの入力 応答時間	200 mS

物理仕様

サイズ (H × W × D)	3.81 × 12.07 × 10.80 cm (1.50 × 4.75 × 4.25 in)
重量	0.14 kg (0.30 lb)
積荷重量	0.91 kg (2 lb)

環境仕様

高度（平均海面以上）	0 ~ 3000 m (0 ~ 10,000 ft)
動作時	0 ~ 15000 m (0 ~ 50,000 ft)
保管時	
温度	
動作時	-5 ~ 45° C (23 ~ 113° F)
保管時	0 ~ 45° C (32 ~ 113° F)
使用湿度	0 ~ 95%、結露しないこと
センサ動作温度	0 ~ 60° C (32 ~ 140° F)

適合規格

妨害電波規制規格	FCC Class A、VCCI Class A、ICES-003 Class A、EN 55022 Class A、AS/NZS CISPR 22、GOST-R 51318.22
情報処理装置イミュニティ規格	GOST-R 51318.24、EN 55024

電波障害



警告

責任のある機関によって明示的な承認を受けずに改変すると、本製品の利用権利が取り消される可能性があります。

Japan—VCCI

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may occur, in which case, the user may be required to take corrective actions.

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

APC ワールドワイドカスタマサポート

APC 製品の無料カスタマサポートは次のように提供されています。

- APC の Web サイトにアクセスすると、FAQ や APC Knowledge Base の資料を参照したり、カスタマサポートへの要望を送信することができます。
 - **www.apc.com** (本社)
 - **www.apc.com/support/**
グローバルサポートには、FAQ、Knowledge Base、e-support があります。
- APC カスタマサポートには電話または電子メールで問い合わせることもできます。

日本 03-5434-2021 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

(ただし、祝祭日、弊社の定めた休日を除く)
E-Mail : jinfo@apcc.com

お住まいの地域のカスタマサポートについては、APC 製品を購入した APC 営業担当または販売店にお問い合わせください。

Entire contents copyright © 2006 American Power Conversion. All rights reserved. 許可を得ずに、本製品の全部または一部を再製することは禁止されています。APC、APC ロゴ、Symmetra、PowerStruXure、NetShelter は American Power Conversion Corporation の商標であり、関連当局に登録されている可能性があります。その他の商標、製品名、社名はすべて所有者各位の所有物であり、これらは情報提供の目的でのみ使われています。

